

ECOLOGY



トヨタは、トータルクリーンをめざしています。

「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざしています。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図っています。

*1. Eco-VAS[エコパス]:Eco-Vehicle Assessment System.車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。

地球温暖化を防ぐために

燃費向上 温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして、クリーンディーゼルエンジン(F33A-FTV)、10速オートマチック〈Direct Shift-10AT〉などの採用により、徹底した燃費の向上を図っています。

省冷媒化 エアコンの冷媒には、オゾン層を破壊しない代替フロンHFO-1234yfを採用しています。

都市環境のクリーン化のために

排出ガスのクリーン化 クリーンディーゼルの搭載により、世界でも厳しいと評される日本の排出ガス規制をクリア。高性能の三元触媒や空燃比補償装置などを採用し、「平成30年排出ガス規制適合」の認定を国土交通省より取得しています。

リサイクル性向上のために

リサイクル性に優れた材料の使用 樹脂部品では、リサイクル性に優れた素材TSOP*2を採用しています。

解体性向上 解体性向上マークを大物部品に設定し、取り外し性の向上を図っています。

*2. TSOP:Toyota Super Olefin Polymer

環境負荷物質を削減するために

環境負荷物質の削減 鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界目標を達成しています。

VOC*3の低減

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」*4を下回るレベルとし、業界自主目標を達成。車室内空気質の快適性に配慮しました。

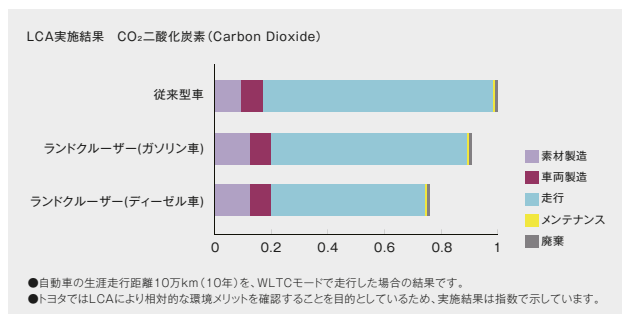
*3. VOC:Volatile Organic Compounds

*4.厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値

ライフサイクルで環境負荷を低減

LCA*5の実施 走行段階だけでなく、生産から廃棄までのライフサイクルで排出するCO₂の総量を従来型車に比べて低減しています。

*5. LCA[ライフサイクルアセスメント]:Life Cycle Assessment.資源採取から廃棄、リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。



トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

トヨタ ランドクルーザー 環境仕様

車両仕様	3DA-FJA300W		3BA-VJA300W	
	エンジン	型式	F33A-FTV	V35A-FTS
駆動装置	総排気量	(L)		
	燃料	軽油		
変速機	駆動方式	無鉛プレミアムガソリン		
	変速機	4輪駆動		
車両重量	変速機	10AT		
	変速機	10AT		
燃料消費率	燃料消費率※1	(km/L)		
	CO ₂ 排出量	(g/km)		
主要燃費改善対策	燃料消費率※1	(km/L)		
	CO ₂ 排出量	(g/km)		
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)	平成30年排出ガス規制適合※2		
	認定レベル値	CO		
適合規制値	CO	0.63		
	NMHC	0.024		
適合規制値	NOx	0.15		
	PM	0.005		
車外騒音(加速/定常/近接)	車外騒音(加速/定常/近接)	(dB)		
	冷媒の種類(GWP値※3)/使用量	(g)		
環境負荷物質削減	鉛	HFO-1234yf(1※4)/870※5、720※6		
	水銀	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下※7)		
カドミウム	カドミウム	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※8)		
	六価クロム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)		
車室内VOC	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)		
	車室内VOC	自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)		
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	バンパーカバー、インストルメントパネル、その他内装材		
	植物素材の活用 ケナフ	シートバックボード		
樹脂、ゴム部品への材料表示	リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー		
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり		

※1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

※2. WLTCモード走行。

※3. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)

※4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。

※5. クールボックス装着車は1,000g。

※6. GX。

※7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。

※8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。